



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーセー  
 コード番号 4922 URL https://corp.kose.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一俊  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 花倉 浩子 TEL 03-3273-1511  
 半期報告書提出予定日 2024年8月7日 配当支払開始予定日 2024年9月10日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	159,133	10.3	13,748	31.9	18,882	34.3	11,610	33.5
2023年12月期中間期	144,295	10.5	10,420	44.5	14,062	△7.2	8,697	△2.1
(注) 包括利益	2024年12月期中間期 17,617百万円( 44.7%)		2023年12月期中間期 12,175百万円( △26.2%)					

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	203.47	—
2023年12月期中間期	152.45	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期中間期	380,144	296,515	73.4	4,892.20
2023年12月期	371,657	283,038	71.6	4,664.70
(参考) 自己資本	2024年12月期中間期 279,173百万円		2023年12月期 266,156百万円	

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2024年12月期	—	70.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	312,000	3.9	20,000	25.1	20,800	2.7	12,600	8.0	220.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期中間期	60,592,541株	2023年12月期	60,592,541株
2024年12月期中間期	3,527,578株	2023年12月期	3,535,001株
2024年12月期中間期	57,059,953株	2023年12月期中間期	57,055,055株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は経済情勢の変動等に伴うリスクや様々な不確定要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、第2四半期 (中間期) 決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	12

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

中間連結会計期間(2024年1月1日から2024年6月30日まで)

セグメントの名称	前中間連結会計		当中間連結会計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
化粧品事業	117,021	81.1	126,731	79.6	9,710	8.3
コスメタリー事業	26,246	18.2	31,250	19.6	5,003	19.1
その他	1,027	0.7	1,151	0.7	123	12.0
売上高計	144,295	100.0	159,133	100.0	14,837	10.3

区分	前中間連結会計		当中間連結会計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益	10,420	7.2	13,748	8.6	3,327	31.9
経常利益	14,062	9.7	18,882	11.9	4,820	34.3
親会社株主に帰属する 中間純利益	8,697	6.0	11,610	7.3	2,912	33.5

当中間連結会計期間(2024年1月1日から2024年6月30日まで)における日本経済は、緩やかな回復基調であったものの、一時的な足踏みが見られました。円安を背景としたインバウンド需要が順調に回復し、物価高による実質賃金の低迷等により弱含んでいた個人消費も、徐々に下げ止まりの傾向がみられます。一方で、海外経済の減速により輸出は横ばいの状態が続く他、原材料・エネルギー価格等の上昇や、人手不足の深刻化による供給面の制約が、不安材料となりました。

当社グループが主に事業展開しているアジア・米国経済においては、中国では、消費回復の弱さや不動産不況の継続により、成長率は鈍化傾向にあります。それ以外のアジア経済は、一部地域で景気の減速が見られたものの、底堅い内需や輸出の回復により、全体では堅調に推移しました。

米国においては、失業率が緩やかに上昇し消費者マインドが悪化したものの、インフレ率の上昇は引き続き鈍化傾向にあり、個人消費は底堅く推移したため、景気は緩やかな減速にとどまりました。

日本の化粧品市場においては、百貨店、化粧品専門店に加え、ドラッグストアなどのマス市場においても内需が伸長し、インバウンドの増加も化粧品需要の回復を後押ししました。

アジアの化粧品市場においては、中国では、景気不安から消費者の節約志向が高まり、個人消費が低迷するとともに、中国国産ブランドの台頭により競争環境が激化し、厳しい事業環境が続いています。

それ以外のアジア各国については、一部地域では弱さがみられるものの、全体では回復基調となりました。

米国の化粧品市場は、底堅い個人消費に支えられ、売上高の伸びは減速しつつも総じて堅調に推移しました。

このような市場環境の中、当社グループは中長期ビジョン「VISION2026」を推進しており、「世界で存在感のある企業への進化」を目指し、グローバルな事業展開の促進、事業領域および顧客層の拡大、デジタルコミュニケーションの強化、成長を支える経営基盤の構築に取り組んできました。

なお、約3年に及ぶコロナ禍の影響により、中国市場をはじめ、国内外の事業環境が大きく変化しました。これを踏まえ、当社グループは次期ビジョンの策定に取り組んでおり、今年度のできるだけ早い時期に開示する予定です。

当中間連結会計期間における当社グループの業績については、中国において減収となりましたが、日本では全てのセグメントにおいて売上が伸長しました。加えて、欧米を中心に展開する「タルト」が実績を牽引したことにより、売上高は前年同期比10.3%増の159,133百万円(為替の影響を除くと前年同期比6.2%増)となり、連結売上高に占める海外売上高の割合は36.4%となりました。

利益については、利益率の高い中国のトラベルリテール事業の減収や、プロダクトミックスの変化による原価率の増加が影響したものの、日本とタルトの増収が貢献し、販管費率が低下した結果、営業利益は13,748百万円(前年同期

比31.9%増)となりました。経常利益は、為替差益の増加により18,882百万円(同34.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は11,610百万円(同33.5%増)となりました。

化粧品事業では、ハイプレステージにおいて「コスメデコルテ」が日本国内で順調に推移しましたが、中国において、前述の厳しい市場環境に加え、市場在庫のコントロールを含む事業改革を推進した結果、減収となりました。それ以外のブランドでは、(株)アルビオンの「エレガンス」がインバウンド需要により大きく伸長しました。欧米で展開する「タルト」は、主力商品のコンシーラーや新商品のリップ、マスカラ等で売上を伸ばしました。

プレステージの主力ブランドの「雪肌精」は化粧水のリニューアル販売が好調に推移し、「ONE BY KOSÉ」は新商品が売上増加に貢献しました。また、「エスブリーク」も、ベースメイク商品の売上が伸長しました。

これらの結果、化粧品事業の売上高は126,731百万円(前年同期比8.3%増)となり、営業利益は12,233百万円(同4.9%増)となりました。

コスメタリー事業においては、コーセーコスメポート(株)の主要ブランド、「ソフティモ」、「クリアターン」、「サンカット」が順調に推移し、また「メイク キープ シリーズ」および「ファシオ」の売上が好調であったため、売上高は31,250百万円(前年同期比19.1%増)、営業利益は3,900百万円(同238.2%増)となりました。

その他の事業は、OEM生産の受注が増加したため、売上高は1,151百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は573百万円(同30.1%増)となりました。

#### 地域別売上高(外部顧客に対する売上高)

	前中間連結会計		当中間連結会計		前年同期比較	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
日本	87,525	60.7	101,156	63.6	13,631	15.6
アジア	31,941	22.1	23,313	14.7	△8,628	△27.0
北米	21,670	15.0	30,484	19.2	8,813	40.7
その他	3,157	2.2	4,177	2.6	1,020	32.3
売上高計	144,295	100.0	159,133	100.0	14,837	10.3

#### <日本>

日本では、百貨店・化粧品専門店チャネルにおいて、「アルビオン」が実績を牽引した他、「コスメデコルテ」が堅調に推移しました。Eコマース売上では「コスメデコルテ」の売上が伸長しました。ドラッグストア等のマスチャネルにおいては、プレステージの主要ブランド「雪肌精」および「ONE BY KOSÉ」、コスメタリーの主要ブランドが需要回復の後押しにより、大きく実績を伸ばしました。

その結果、売上高は101,156百万円(前年同期比15.6%増)となりました。

#### <アジア>

中国では、消費の低迷により店頭消化が弱含み、市場在庫が滞留する中、各チャネルの特性に応じた販売手法の見直しを推進しており、Eコマースおよび店頭販売の売上は減収となりました。トラベルリテール事業は、流通側の代購業者への販売規制および在庫削減方針の影響に加え、当社においても出荷のコントロールを継続した結果、大幅な減収となりました。

これらの結果、売上高は23,313百万円(前年同期比27.0%減)となりました。

#### <北米・その他>

北米においては、タルトの主力商品の堅調さに加え、新商品の好調な販売により、プレステージメイクアップ市場において高いシェアを維持しました。SNSでの販売拡大も寄与し、さらに円安進行により、売上高は30,484百万円(前年同期比40.7%増)となりました。

その他(欧州など)でも、引き続きタルトの売上が好調に推移し、売上高は4,177百万円(同32.3%増)となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日に発表しました通期連結業績予想は変更ありません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	132,846	128,264
受取手形及び売掛金	44,405	44,851
商品及び製品	40,100	46,667
仕掛品	3,386	4,942
原材料及び貯蔵品	27,395	31,330
その他	8,719	5,845
貸倒引当金	△121	△154
流動資産合計	256,732	261,748
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,666	53,747
減価償却累計額	△28,013	△28,908
建物及び構築物(純額)	24,652	24,838
機械装置及び運搬具	22,661	22,710
減価償却累計額	△18,540	△19,193
機械装置及び運搬具(純額)	4,120	3,517
工具、器具及び備品	46,303	46,910
減価償却累計額	△40,664	△41,192
工具、器具及び備品(純額)	5,638	5,718
土地	17,333	19,253
リース資産	12,385	14,056
減価償却累計額	△3,337	△4,070
リース資産(純額)	9,048	9,985
建設仮勘定	453	608
有形固定資産合計	61,247	63,921
無形固定資産		
ソフトウェア	5,084	6,161
のれん	3,621	3,526
その他	5,399	4,289
無形固定資産合計	14,105	13,978
投資その他の資産		
投資有価証券	15,838	16,414
退職給付に係る資産	14,545	14,537
繰延税金資産	5,035	5,402
その他	4,828	4,850
貸倒引当金	△675	△708
投資その他の資産合計	39,572	40,496
固定資産合計	114,925	118,396
資産合計	371,657	380,144

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,628	10,040
電子記録債務	18,491	17,534
短期借入金	500	500
リース債務	1,050	1,161
未払金	15,644	10,816
未払費用	11,630	8,774
未払法人税等	3,867	5,495
未払消費税等	2,307	1,420
返金負債	5,756	5,996
その他	2,346	2,524
流動負債合計	70,224	64,264
固定負債		
リース債務	8,664	9,359
繰延税金負債	5,038	4,829
その他	4,692	5,176
固定負債合計	18,395	19,365
負債合計	88,619	83,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,848	4,848
資本剰余金	123	179
利益剰余金	243,823	251,439
自己株式	△9,073	△9,054
株主資本合計	239,721	247,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,747	4,600
為替換算調整勘定	14,256	20,095
退職給付に係る調整累計額	7,430	7,065
その他の包括利益累計額合計	26,434	31,761
非支配株主持分	16,881	17,342
純資産合計	283,038	296,515
負債純資産合計	371,657	380,144

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	144,295	159,133
売上原価	41,112	46,509
売上総利益	103,183	112,623
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	12,467	13,216
販売促進費	21,884	22,939
運賃及び荷造費	9,331	9,336
給料及び手当	25,169	26,649
退職給付費用	106	27
法定福利費	4,040	4,161
減価償却費	2,521	2,507
その他	17,241	20,037
販売費及び一般管理費合計	92,762	98,875
営業利益	10,420	13,748
営業外収益		
受取利息	656	489
受取配当金	174	231
還付消費税等	290	45
投資事業組合運用益	—	106
為替差益	2,392	4,020
雑収入	320	274
営業外収益合計	3,834	5,169
営業外費用		
支払利息	9	7
貸倒引当金繰入額	67	14
投資事業組合運用損	35	—
雑損失	81	13
営業外費用合計	193	35
経常利益	14,062	18,882
特別利益		
固定資産売却益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産処分損	75	43
減損損失	36	1
関係会社株式評価損	3	—
事業整理損	330	153
特別損失合計	444	198
税金等調整前中間純利益	13,636	18,684
法人税、住民税及び事業税	3,952	6,456
法人税等調整額	701	12
法人税等合計	4,654	6,469
中間純利益	8,981	12,214
非支配株主に帰属する中間純利益	283	604
親会社株主に帰属する中間純利益	8,697	11,610

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	8,981	12,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△660	△138
為替換算調整勘定	4,214	5,924
退職給付に係る調整額	△360	△383
その他の包括利益合計	3,193	5,402
中間包括利益	12,175	17,617
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	11,870	16,937
非支配株主に係る中間包括利益	305	680

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	13,636	18,684
減価償却費	4,629	4,435
減損損失	36	1
のれん償却額	491	555
事業整理損	330	153
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△263	57
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△476	△198
固定資産処分損益(△は益)	56	43
受取利息及び受取配当金	△831	△721
支払利息	9	7
為替差損益(△は益)	△715	△1,332
関係会社株式評価損	3	—
投資事業組合運用損益(△は益)	35	△106
売上債権の増減額(△は増加)	10,339	511
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,793	△8,623
仕入債務の増減額(△は減少)	2,472	△189
返金負債の増減額(△は減少)	△732	△231
その他の資産の増減額(△は増加)	95	635
その他の負債の増減額(△は減少)	△6,212	△8,105
小計	21,111	5,577
利息及び配当金の受取額	810	645
利息の支払額	△12	△6
法人税等の支払額	△4,511	△2,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,398	3,358
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△14,423	△16,191
定期預金の払戻による収入	13,840	15,123
有形固定資産の取得による支出	△2,334	△4,692
有形固定資産の売却による収入	80	0
無形固定資産の取得による支出	△1,308	△1,024
投資有価証券の取得による支出	△671	△890
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	158
投資事業組合からの分配による収入	—	64
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△23	△8
長期貸付けによる支出	△35	—
長期貸付金の回収による収入	0	0
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△359	△99
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,236	△7,561

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,042	—
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△1
長期借入金の返済による支出	△98	—
配当金の支払額	△3,993	△3,994
非支配株主への配当金の支払額	△219	△219
その他	△86	△73
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,440	△4,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,324	2,120
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,045	△6,372
現金及び現金同等物の期首残高	94,063	105,669
現金及び現金同等物の中間期末残高	103,109	99,297

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	117,021	26,246	143,268	1,027	144,295	—	144,295
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	234	234	△234	—
計	117,021	26,246	143,268	1,262	144,530	△234	144,295
セグメント利益	11,662	1,153	12,816	441	13,257	△2,836	10,420

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	37
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,873

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当中間連結会計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
87,525	31,941	21,670	3,157	144,295

## II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化粧品事業	コスメタリ ー事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	126,731	31,250	157,981	1,151	159,133	—	159,133
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	254	254	△254	—
計	126,731	31,250	157,981	1,405	159,387	△254	159,133
セグメント利益	12,233	3,900	16,134	573	16,708	△2,960	13,748

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、以下のとおりであります。

(単位:百万円)

セグメント間取引消去	△68
各報告セグメントに配分していない全社費用	△2,892

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用及び基礎研究費用であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失、又はのれん等に関する情報

当中間連結会計期間において、重要な事項はありません。

## 3. 地域に関する売上高情報

(単位:百万円)

日本	アジア	北米	その他	計
101,156	23,313	30,484	4,177	159,133

## (収益認識関係)

## 収益の分解情報

当社グループは、「化粧品事業」及び「コスメタリー事業」の2つの報告セグメントに区分しており、当該報告セグメントは、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象としていることから、これらの2事業で計上する収益を売上高として表示しております。また、地域別の収益は、顧客の所在地に基づき分解しております。これらの分解した収益とセグメント売上高との関連は、以下のとおりであります。

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	60,875	31,325	21,670	3,149	117,021
コスメタリー事業	25,623	615	—	8	26,246
報告セグメント計	86,499	31,940	21,670	3,157	143,268
その他(注)	922	1	—	—	924
顧客との契約から生じる収益	87,421	31,941	21,670	3,157	144,192
その他の収益	103	—	—	—	103
外部顧客への売上高	87,525	31,941	21,670	3,157	144,295

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
化粧品事業	69,741	22,348	30,484	4,157	126,731
コスメタリー事業	30,265	963	—	20	31,250
報告セグメント計	100,006	23,312	30,484	4,177	157,981
その他(注)	1,046	1	—	—	1,047
顧客との契約から生じる収益	101,053	23,313	30,484	4,177	159,029
その他の収益	103	—	—	—	103
外部顧客への売上高	101,156	23,313	30,484	4,177	159,133

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アメニティ製品事業等を含んでおります。